



海のたより



蒲郡マリンカップ、ゴール前
第2スタート艇を追い上げる第3スタート艇

目次	行事予定
表紙 第12回蒲郡マリンカップヨットレース	8月22日 白谷Pレース&BBQ JSAF安全フェスティバル in 白谷
P 2 7月ナイトレース	8月29日 理事長杯ヨットレース
P 3 スモールクルーザーレース	申込締切22日、海陽ハーバー
P 4 マリンカップレース成績表	兼MCC8月、スモール8月
P 5-7 マリンカップレポート	9月19日 佐久島レース(早朝)
	9月26日 9月スモールクルーザーレース

MCC 7月 ナイトレース

今季、2勝目。バンゼーい。

ダンシングビーンズ 安田

今回のナイトレースは、久々にメンバーが6人も集まり、人数としては万全の中、レース当日を迎えた。しかしながら、艇長会議に行ってみると、うちとオデッセイ、セレスティーンの参加3艇のみ。コミッティのベベは、還暦のイベントで不参加。とりあえず3艇揃ったのでレースはおこなうことに。我々としては、次週のパールレースの練習も兼ねて走りたかったのでまずはOK。

スタートは、風が弱かったが3艇のみなのでラインが広々。ジャストスタートで豊橋潮流ブイへ向かう。南東の風でスピンの何とかが揚げれる風であったのでスピンアップ。

セレスティーンは遅れたようだ。オデッセイは、上側を走っているが豊橋港方向へどんどん上っていく。うちはプロパーラインを行っているのに何であんなに上るの?と思いつつどんどん離れて行った。セレスティーンもオデッセイを追いかけて上っているようだ。

そうこうしているうちに、豊橋潮流ブイを回航、スピンのままバウダウンし佐久島へ向ける。後ろ2艇がどんどん上って行ってくれたおかげで十分な差をつけることができた。

風が途切れることなくあり順調に生田、一色ブイをこなす。再び生田横に差し掛かったあたりで後続2艇も回航。あまり差が広がっていない。気を引締めて角石方面へ。このあとも順調に風があり、松島沖を通過し野島回航。あたりはだんだん白み始める。松島の内側を通過したやつが来るのでは?と、ひやひやししながら松島方面を見たがこない。「アーよかった。」

豊橋潮流ブイ近くになってオデッセイ、セレスティーンを確認。セレスティーンは、西浦半島に向け航行。いつぞやのアルミスみたいに岸を狙っているのか?我々が豊橋潮流ブイを回ったあともセレスティーンは西浦に向けたまま。あれ〜。リタイアか?

最終的にはやはりセレスティーンは DNF。完走2艇でレースを終えた。今回のナイトは終始風に恵まれ、順調にいったレースであった。

やっぱりレースはたくさんの艇がいてこそ色々なドラマが生まれる。次回のMCCレース、みなさん、こぞって参加し、いろいろなドラマを作りましょう。

最後に、コミッティのベベさんお疲れ様でした。

名称	三河湾周航レース								
コース	S-小島-生田-一色-野島-豊橋潮流-小島-F								
距離	39			マイル					
風速	5m 以下								
スタート	11:00:00								
				(A)		(B)	(A*B)		
セール No	艇名	TYPE	所属	MRC	着順	所要時間	修正時間	順位	
5933	Dancing Beens 3	Seam 31	MCC	1.016	1	8:14:37	8:22:32	1	
4832	Odyssey	Tsuboi IMS950	MCC	0.98	2	9:25:25	9:14:07	2	
3173	C'elestine	Seam 31	MCC	1.018	DNF	DNF	DNF	DNF	DNF

前期レースが終了、結果は

前期総合優勝 ダンシングビーンズⅢ
準優勝 オデッセイ
3位 アルミスV



MCC海のたよ18月号・MCC海のたよ18月号・MCC海のたよ18月号

2010年7月スモールクルーザーレース

天気予報では南の風

ハニービー (ホーネット) 正木



梅雨が明けて、南の風、晴れの天気予報だったが、朝から雨粒が落ちるような東風で、今回のコースはハーバー出口・竹島手前マーク間を3周するように設定された(スピンドで竹島に向かい、上りでハーバーに向かって来る、を想定)。

ハニービーは、オリジナルメンバーの三戸&涼子さんはコミッティの役目を果たしオカキン、レースには佐々木君、三戸さんの会社の同僚でヨットレース新人のヨネダ氏と正木のほぼ45オトリオで臨んだ。

梅雨明けにもかかわらず参加は4艇。各艇とも乗員は3名で、そつのないレース運びが勝負を左右するのかもしれない。

ヘルムスマンとしては、このメンバーなので決して無理はしないけども、ボートスピードの維持には気をつけないと、という感じでいった。

スタート前に南の風が入って来てこのコースでいいのかという気もするが、もう時間がないし、いい位置で出れそうだし・・・とにかく余分な動作を省略したいのでジブを上げずにスタート。新人さんと力を合わせてスピニアップ。何とか他艇に先行はできた。

南に振れて一本コースでポートのスピラン。やはりバイキングが迫ってくるが、さて、マーク回航を如何にしたものか。艇長会議の内容を聞いてこなかったが、当初の想定ならアंकロのはず。スピランから風上回航をして180度戻るのならば「ジブアップ→スピンドダウン→タックで回航→コースへヘッドダウン」を頭の中で描く。バイキングに並走されながらも「無理はしない」を忠実にして、早め早めの動作をしていく。

ところが、というか、面白いものでバイキングはスピンドを下ろす気配なく、回航した後、後ろを振り返るとスピンドを揚げたままマークに捕まっている。後続のアヤもスピンドタックを試みて遅れているようだ。いつも先行されているホープは、今日は4番手だ。

我々は、リードしているという余裕もなく、少しずつ振れる風に注意しながら、スピンドでも行けるかもしれないと思いつつも差を詰められるわけでもないのでジブのままハーバーサイドのマークへアプローチ、ジャイブで回航、また同じようにポートのスピランで竹島方面を目指す。バイキングがマークを引っかけたためか、マークが岸よりになったようだ。2周目も手堅く同じやり方で回る。風が落ちたこともあって、後続艇との差を広げトップでフィニッシュ。

最後のホープがフィニッシュする頃には夏らしい安定した南風になっていた。密かに持ってきた缶ビールを飲みながらいい気分マーク回収作業をしたのであった。

ヨットレースとしては、時間やコースに物足りなさもないではないが、ヨットレースの面白さや難しさ・・・コース設定やジブかスピンドかの選択、スピンドタックの是非など・・・も味わえるし、少人数でレースもできるという楽しさを改めて感じた今回のレースだった。

次回も出たいと思います

名称		7月ポイントレース						
コース	S-竹島-S-竹島-F							
距離	3		マイル					
風速	5m以下				ファーストホーム		ハニービー	
スタート	11:00:00				優勝		ハニービー	
			(A)		(B)		(A*B)	
セーラー No	艇名	TYPE	所属	MRC	着順	所要時間	修正時間	順位
4418	HoneyBee	YAM23	SCR	0.844	1	0:46:10	0:38:58	1
5426	AYA	YAM21S	SCR	0.822	2	0:51:50	0:42:36	2
167	Viking	X79	SCR	0.885	3	0:55:30	0:49:07	3
66	Hope	YAM21C	SCR	0.817	4	1:07:33	0:55:11	4

レース名 第12回蒲郡マリンカップ 成績表

日時 2010年8月1日(日)

コース 三谷(スタート)ー小島(東)ー帆走区域灯標ー小島(東)ー三谷(フィニッシュ)

クラス C1 (青)														Start時刻(時:分:秒) 11 0 0		
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間 秒	修正時間 秒	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒			C1	青総合	C1	C総合	全艇	
キャロル	4177	C1	YAM23	755.0	.8440	11	40	09	2409	2033	1	2	1	1	1	
リトルウィンディー	375	C1	YAM21R&C	770.0	.8280	11	40	57	2457	2034	3	4	2	2	2	
ハニビ-	4418	C1	YAM23	755.0	.8440	11	40	18	2418	2041	2	3	3	3	3	
ホープ	6496	C1	YAM21C	780.0	.8170	11	42	06	2526	2064	5	6	4	4	4	
バイキング	6499	C1	X-79	720.0	.8850	11	40	59	2459	2176	4	5	5	6	13	

クラス C2 (青)														Start時刻(時:分:秒) 11 0 0		
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間 秒	修正時間 秒	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒			C2	青総合	C2	C総合	全艇	
ミストラル VI	5479	C2	ブリアン32	710.0	.8970	11	39	11	2351	2109	1	1	1	5	6	
アックス		C2	CATALINA2	760.0	.8380	11	46	34	2794	2341	3	8	2	9	21	
百恵		C2	YAM31EX	710.0	.8970	11	44	55	2695	2417	2	7	3	11	23	

クラス C3 (緑)														Start時刻(時:分:秒) 11 10 0		
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間 秒	修正時間 秒	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒			C3	緑総合	C3	C総合	全艇	
すみれII		C3	YAM25ML I	745.0	.8550	11	53	29	2609	2231	3	7	1	7	17	
バンドーラ	101	C3	Ventdefete	710.0	.8970	11	53	27	2607	2338	2	6	2	8	20	
さつき	5277	C3	Baltic 35	675.0	.9440	11	52	35	2555	2412	1	5	3	10	22	
オリブ	246	C3	YAM33	700.0	.9100	11	54	19	2659	2420	4	9	4	12	24	

クラス R1 (緑)														Start時刻(時:分:秒) 11 10 0		
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間 秒	修正時間 秒	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒			R1	緑総合	R1	R総合	全艇	
ブーメラン	4825	R1	J/24	700.0	.9100	11	48	56	2336	2126	2	2	1	3	8	
ランナーII	3687	R1	YAM30S2	685.0	.9300	11	48	26	2306	2145	1	1	2	6	11	
ベベIII	4825	R1	PION9 F&P	700.0	.9100	11	49	27	2367	2154	3	3	3	7	12	
アクティブ	3605	R1	YAM30CII	700.0	.9100	11	50	36	2436	2217	4	4	4	10	16	
イルカ		R1	NAKA26	750.0	.8500	11	54	23	2663	2264	6	10	5	12	19	
パフィー	123	R1	YAM30S2	685.0	.9300	11	54	11	2651	2465	5	8	6	13	25	

クラス R2 (赤)														Start時刻(時:分:秒) 11 20 0		
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間 秒	修正時間 秒	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒			R2	赤総合	R2	R総合	全艇	
オデッセイ	4832	R2	IMS950	650.0	.9800	11	55	56	2156	2113	1	4	1	2	7	
うらなみIX	5075	R2	J/92	645.0	.9880	11	56	0	2160	2134	2	5	2	5	10	
ルートリス	4932	R2	SLOT31	640.0	.9960	11	57	48	2268	2259	3	7	3	11	18	

クラス R3 (赤)														Start時刻(時:分:秒) 11 20 0		
艇名	Sail No.	クラス	艇種	Marine Cup		Finish時刻			所要時間 秒	修正時間 秒	着順		順位			
				TA	MRC	時	分	秒			R3	赤総合	R3	R総合	全艇	
ケーニツヒ	5650	R3	J/V9.6	625.0	1.0200	11	54	27	2067	2108	1	1	1	1	5	
アルミス5	4774	R3	J/V9.6	625.0	1.0200	11	54	47	2087	2129	2	2	2	4	9	
チェスナット VI	5157	R3	YAM30SN	635.0	1.0030	11	56	09	2169	2176	4	6	3	8	13	
セレスティーン	3173	R3	SEAM 31II	625.0	1.0200	11	55	38	2138	2181	3	3	4	9	15	

MCC海のたより8月号・MCC海のたより8月号・MCC海のたより8月号

第12回蒲郡マリンカップヨットレース

8月1日西よりの風5m程度、帆走区域ブイ往復の一本コース、各艇順調に40分程度で走りきりました
Rクラス総合優勝はケーニッヒ、Cクラス総合優勝はキャロル、
C1優勝キャロル、C2優勝ミストラルVI、C3優勝すみれII、
R1優勝ブーメラン、R2優勝オデッセイ、R3優勝ケーニッヒでした。
各艇からコメントをいただきました。



Cクラス総合優勝 CAROL 水田(みと、SYC)

いつもの事ですけど 下暑い中レースに参加された皆様 大変お疲れ様でした
そしてレースを運営されたスタッフの方々、楽しい一日を本当にありがとうございました。
キャロルでの参加は一昨年に次いで二度目になりますが、以前共同所有だったサツキでは何
度も出させてもらっていましたが 優勝なんて初めてなので本当に嬉しく思っています。

さて今回のレースですが気合の入っている艇を避けてスタートラインの中程の空いている所からスタートしたの
がよかったみたいです。それとタッキング無し・ジャイビング一回と 苦手なことが無かったことも幸運でした。
とはいえ修正秒でたったの1秒差には驚きましたが・・・

私は最近の三河湾のヨットレースで一番楽しめるレースだと思っていますので来年も是非させていたいただきたい
と思います 本当にありがとうございました。



C2優勝 ミストラルVI 長尾佳世子(名鉄西浦)

蒲郡マリンカップはミストラルVIのように普段クルージング目的で活用
している船が出られる数少ないレースです。数年前の大島周りのコースの
時は、前の船(ミストラルV)で時々、参加させていただいていました。
しかし、成績はいつも後ろから数えた方が早く、暑くてプカプカしながら
セーリングしていた記憶があります。その後、他のイベントと重なったこ
ともあり数年、レースからは遠ざかっていました。3年前に今のミストラ
ルVIとなり、今年は同じマリーナのミーティアさんのクルーと一緒に参加させていただきました。

レースには縁遠く IRC や TRS などのレーティングはもちろん、セール No もありませんし、ジブファーラー
付き、3枚固定翼の上、家財道具一式積んだままの参加で、ホームポートの名鉄西浦マリーナから三谷漁港へ向
かう途中の風を見ながら今年もまた、BBQ を楽しもうと思っていました。こんな状況ですので固定のポジショ
ンもなく「今日、どこやる？」ってことで「は〜い、私スキッパー」と手を挙げたところすんなりと決定。

スキッパーの権限で本部船側からスタートしようという皆の意見を覆し、下からでもいいから艇速稼いでスタ
ートすることに・・・。とにかく重い船なので艇速がないと止まってしまいます。でもこのおかげでジャストスター
ト(だと思えます)、そのまま一直線にマークを目指しましたが、いい風で一気に上りきることができ、一番手で
回航、その後スピナーカーを上げてまた一気にゴールのはずでしたが、昨日、減多に上げないスピナーカー
の練習もしましたが、やっぱりちょっと失敗してなかなか上らず、後続艇に抜かれるじゃないかとどきどきし
ながら艇速保持に努めました。

スピナーカーが上がった後はひたすらゴールへ一直線。結果、なんとファーストホーム、C2クラス優勝、
はじめてのことで皆、とても喜び乾杯の嵐でした。こういったクルージング艇がこんなに楽しめるレースは他に
はないのではないのでしょうか。今回のレースをきっかけに皆でもう少し練習しようとして話しています。時にはレース
にでるのも技術を磨くためにいいですね。

ちょっとだけ提案ですが三河湾ではなかなか女性がスキッパーをするところを見かけません。ヨット人口も少
ないので女性だけのレースは難しいですが、女性がスキッパーのレースなんてのもおもしろいかな?って思いま
す。

最後になりますがこのように楽しいレースを主催していただいた関係者の皆様に感謝いたします。MCC の今
後のご発展をお祈りいたします。





C3優勝「すみれⅡ」 はせ(ラグーナ)

私はラグーナマリーナをホームポートとするG4メンバーの一人であり、まだヨットを始めて5年程の素人集団おまけに60歳を過ぎたお爺い4人組であります。毎週末LMに来ては、夜になると酒を飲み時々海に出てクルージングを楽しみ、昨年はLMのポイントレースに参加したりして、おおいに海を楽しんでいます。

さてと、肝心のレースの事を書かねば、我々は11時10分スタートの

C3クラス艇長会議が終わるやいなや、練習に海へGO。。。。。。。

スタートまでタック、ジャイブ、など練習を重ね、ジャイブしてジェネカUPなどの練習も重ねスタートを待つ。いよいよスタートの時がだんだん迫ってまいりました、作戦会議(あーでもない、こうでもない)を何度か繰り返して今日の風は西風上から本部船を管めるようにスターボースタートと決め時計のカウント開始10、9、8、7、。。。。。。後方から同じマリーナ所属の某ショップのJ24「ブウ。。。。ラン」のパウから突入・突入と号令なのか、喚きなのかかわからない大きな声で、かたや「すみれのクルーは」入れるな入れるなと大きな声スキッパーの人のよさとスキル不足から同時にスタート、

その後は天候にも恵まれ5メートル前後のほどよい風6ノット前後で快調に走り大島沖小型船帆走区域のブイをジャイブしてスタート前練習したジェネカUP、後はゴールを目指してGO。。。。。めでたく11時53分29秒でゴール

その後スタートを争った某ショップのJ24「BU。。。。」の横に「すみれ」つけBBQに。さあBBQの準備、冷たいビールでどの渴きを潤す。BBQだけ参加のG4メンバーも加わり楽しい宴が続きレースのことなど忘れていたその時C3クラス優勝

「すみれⅡ」ウオーヤッター(すでに結果を見て知ってはいた)これって二連覇。。。。。。。

おまけに1位の商品エアコンをゲット(じゃんけんで)おまけに東三河限定商品との事これもローカルならではの事かも笑う?クルーの中に一人Y氏(今回のレースにて一番働いた人)に差し上げました。

なんだかんだで本当に楽しい一日をご提供下さいました、MCCの皆さん又蒲郡マリンカップの関係者のみなさん、マリンカップに参加された皆さん本当にご苦労様でした。

来年三連覇を目指し日々鍛錬をし来年も参加したいと思います。 ありがとうございます。

R1優勝 BOOMERANG(ラグーナ)

今年も、美味しいビールを飲むために優勝を目指して頑張るぞ。

R1クラスのスタートは11:10。まだまだ時間があるので海面と風向のチェックだ。そろそろ南南西の風にシフトしてもよい頃なのに、スタートエリアは北北西7~8kntのパフがしっかり入って来る。大島に近付くと徐々に南に振れ。これでは、プロパーコースより大分低く走らないとスピンは揚らない。特にJ24のスピンはフットが短く、一般的なヨットのスピンの比ベタイトリーチには向いていない。一通りのチェックを済ませ、クルーの中でスタートプランが決まる。「一番本部艇寄りからスタートを切つて、フレッシュウインドを掴みスピードで走りきる。」

スタートしたらマークの灯標までスタボアのレグのみ。スタートに失敗すると、ザーと先行艇の影響を受けながら我慢しなければならない。スタート1分前、何としてでも本部艇寄りの一番風上を狙いたいが予想通り混戦している。追い出されないよう僅かな隙間を狙う。スタート!X旗が揚る、誰かリコールのようだ。風下艇を気にして半艇身ほど出遅れてしまうが、一番本部艇寄りを何とか死守する。プランは既に決まっている、ドライブモードでマークまで一直線だ。小島を越えると波が高くなってきた。J24より水線長が長く有利なBeBeとRUNNERが3艇身後ろにぴったりと付いている。

いよいよ回航マークの灯標だ。何とかトップ回航するがスピンは無理のようだ。10分前にスタートしたクラスの艇も揚げてない。風が南にシフトする事を期待して「一番最初にスピンの上がる位置へ」とスタボア艇をかわしながら、大島寄りの一番内側にコースを取る。BeBeもぴったり後ろについてスピンの準備を始めている。「負けてはいけない」直ぐにポールをセットしウインデックスを見つめる。「スピンの揚る!」。ほぼ同時にスピンア



ップだ。抜かれないように終始 BeBe とフィニッシュマークの間に自艇を置くように舵を取る。艇速は良いようだ、リードは少しも縮まらない。

残念な事に最後の 5 分間で RUNNER に風下から抜かれてしまった。本部艇近くで風が大分落ちたことが原因？VMG を何とかキープしたいがリミットマークまで落とせない。ファーストホームを最後の 30 秒程で取り損ねてしまった。念願の R クラス優勝を目指して練習しますので、来年も宜しくお願いします。

今回は海陽ハーバーでディンギーに乗っている大学生の皆さんが体験乗船しました。

愛知大学、名古屋工業大学、愛知工業大学、名古屋大学、名城大学から男女 20 名の参加があり R 2, R 3 の 7 艇に分乗していただきました。



マリニックップ感想 愛知大学 一年 近藤唯

今回マリニックップでクルーザー乗りとディンギー乗りの交流という形で体験試乗とバーベキューに参加してもらい、非常によい体験ができたと思います。クルーザーに乗ったことがなかったので、初めて乗れたことがうれしかったです。ディンギーとは大きさこそ違いますが、当然ながら走る原理は同じなので、やることもすんなりと理解ができました。

しかしスタートしてみるとディンギーではありえないほどヒールさせたまま帆走したり、セールトリムがシートを引くだけで大変だったりして、大きさのちがいをあらためて体感できました。またディンギーはせわしなく周りの艇を見ていたり、風をみたり、ヘルム・ヒールを気にしますが、比較的クルーザーのほうがゆったりと乗っていた印象がありました。なんだかディンギーとクルーザーでは流れている時間が違うように感じました。

BBQ ではその日乗ったメンバーのみなさんと楽しくヨットの話や大学の話などで、盛り上がり一気に親睦が深まった気がしました。一緒に乗った方だけでなく、ゲームを通してたくさんの方と仲良くしていただき、非常に良い雰囲気だったと思います。

このような交流は、大会等もあって大変かもしれませんが、もっとやっていけたらよいと思います。今回乗ったメンバーの方とまた乗ってみたいとも思うし、今度はディンギー側の体験もしてもらいたいと思います。

マリニックップ感想 名城大学 1年 前野百合江

先日はありがとうございました。今回クルーザーに乗るのは初めてで、どのように乗るのかも全然わかりませんでした。タックなどの基本動作は普通のディンギーと同じで驚きました。同じ動作でもクルーザーならではの迫りに圧倒されました。

クルーザーは乗っている人数が多く、一人一人にそれぞれの仕事があり、バランスをとったり、タイミングを合わせたりすることが難しいと思いました。

ですが、そのぶんヨットとはまた違った面白さというのを感じて、楽しかったです。

とても貴重な体験ができました。

レースの後のバーベキューでも、温かく接していただいて、とても楽しい時間を過ごすことができました。また機会があれば、誘っていただけると嬉しいです。ありがとうございました

